

図3. ボラの体長組成.

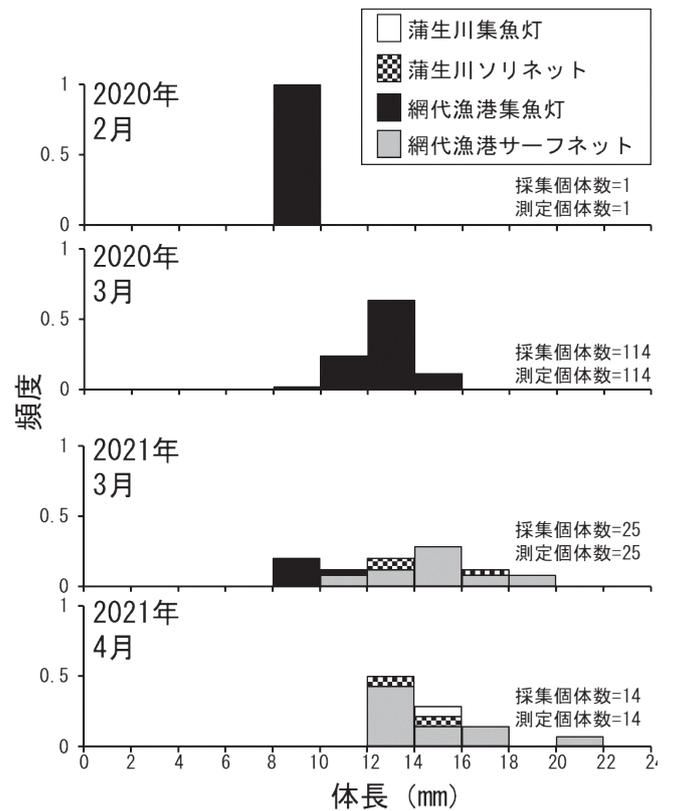


図4. スズキの体長組成.

種の出現が確認された。カサゴ亜目魚類については、ムラソイ *Sebastes pachycephalus pachycephalus*、シロメバル *Sebastes cheni*、ホウボウ *Chelidichthys spinosus* などの仔稚魚が確認されたが、いずれも採集数は僅かであった。スズキ亜目に属する仔稚魚の出現期については、ヒラスズキ *Lateolabrax latus* は5月、スズキが2月から4月（図4）、クロサギが8月から10月、ヘダイ *Rhabdosargus sarba*、クロダイ *Acanthopagrus schlegelii* およびマダイ *Pagrus major* の3種は主に5月、シロギス *Sillago japonica* は9月から10月、メジナ *Girella punctata* は5月から6月であった。カジカ亜目については、イダテンカジカ *Ocyrectes maschalis*、キヌカジカ *Furcina osimae*、アサヒアナハゼ *Pseudoblennius cottoides* の仔稚魚が主に採集され、これらは3月を中心に出現した。ゲンゲ亜目については、ムスジガジ *Ernogrammus hexagrammus*、ダイナンギンポ *Dictyosoma burger*、タケギンポなどの仔稚魚が採集され、これらの出現期は3月を中心とした春季であった。ハゼ亜目については様々な発育段階の個体が採集されたが、仔稚魚の出現期についてはミミズハゼ *Luciogobius guttatus* は5月から6月、キヌバリ *Pterogobius elapoides* は5月から6月、マハゼ *Acanthogobius flavimanus* は3月、アカオビシマハゼ *Tridentiger trignocephalus* は9月から10月、スジハゼ *Acentrogobius virgatus* は10月、ヒメ

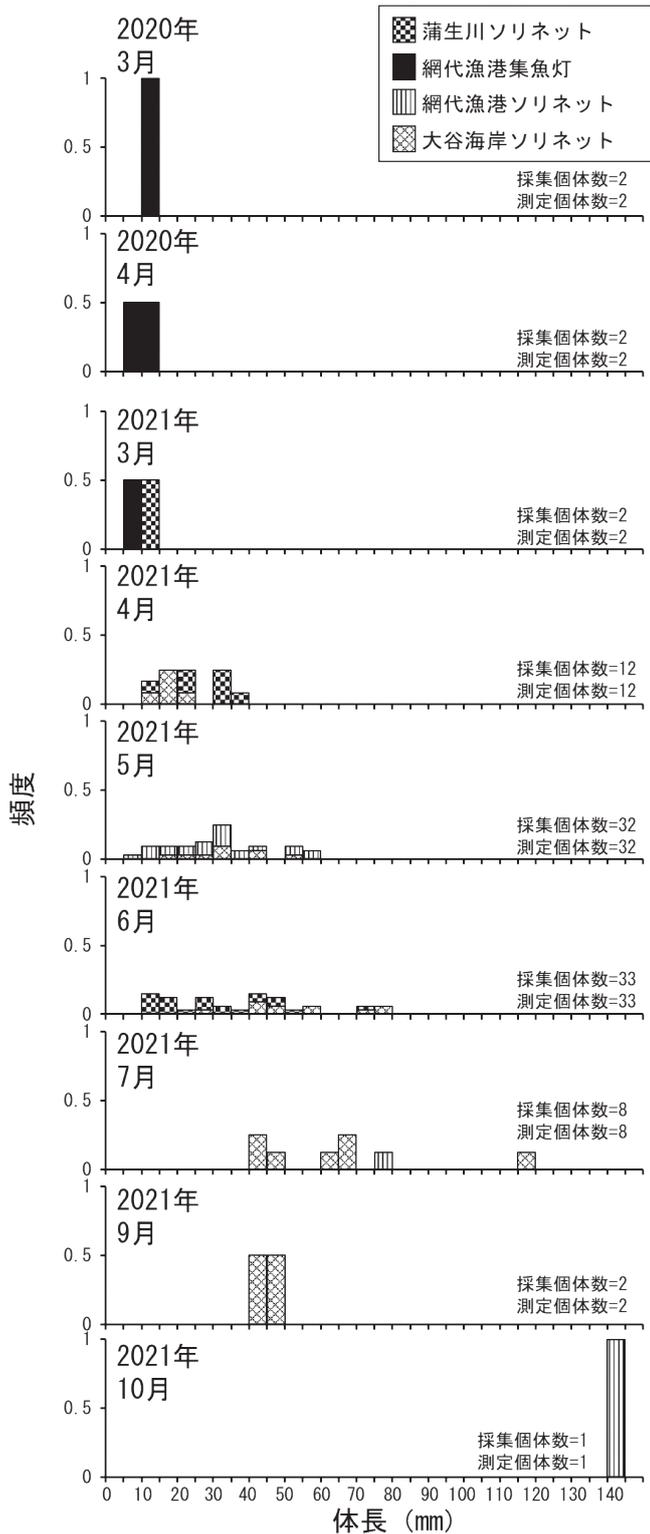


図5. ヒラメの体長組成.

ハゼは9月から10月、ドロメ *Chaenogobius gulosus* は4月から7月であった。また、スミウキゴリ *Gymnogobius petschiliensis* は2月に孵化仔魚が蒲生川における集魚灯で採集され、5月には稚魚期の個体が網代漁港における集魚灯およびサーフネットです採集された。また、サバ亜目のマサバは5月に体長30 mm前後の稚魚期ま

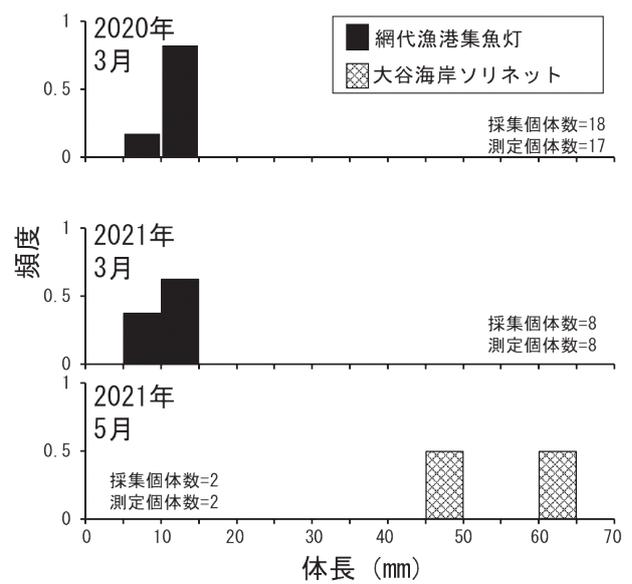


図6. イシガレイの体長組成.

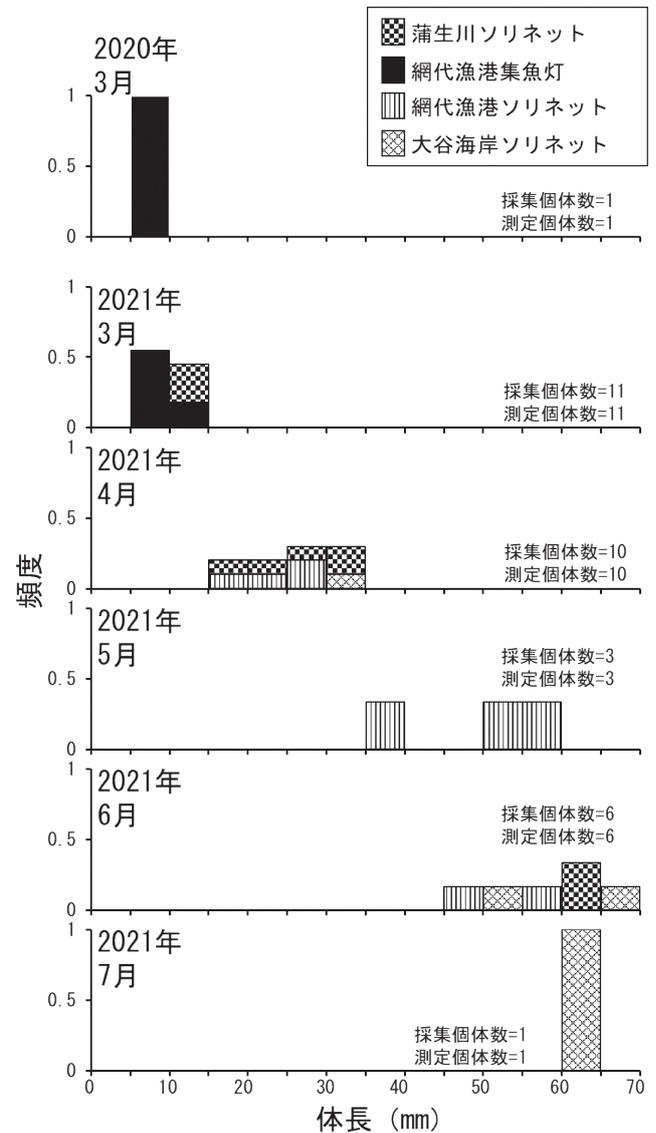


図7. マコガレイの体長組成.